



基安化発第 0330001 号

平成 16 年 3 月 30 日

関係団体の長 殿

厚生労働省労働基準局

安全衛生部化学物質調査課長

石綿含有製品の代替化に係る計画等の提出の依頼について

日頃から化学物質等による労働者の健康障害防止施策の推進に格段の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、石綿含有製品の代替化の促進につきましては、平成 16 年 2 月 26 日付け基安発第 0226001 号「石綿含有製品の代替化の促進について」により、計画的な代替化の実施についてお願いしたところですが、当省においては代替化の動きを揺るぎないものとするため、各企業等における取組の進捗状況等を把握するとともに、代替化の推進に向けた専門技術的な検討及び代替化の好事例についての周知等に努めたいと考えているところです。

つきましては、誠に恐れ入りますが、下記により関係書類等の提出をいただきたく御協力をお願い申し上げます。

記

1 提出書類

(1) 代替化計画

- ・ 様式任意（別添に参考例（2 例）を添付）
- ・ 可能な限り団体として全体をまとめたものとしてください。ただし、困難な場合は各社の計画を束ねたものでも結構です。
- ・ 計画中には具体的な目標時期と実施内容を明らかにしてください。

(2) 代替困難製品の技術的説明書

- ・ 様式任意
- ・ 現在の段階では代替した場合に安全に支障がないと思われる無石綿製品がなく、今後、技術開発、実証試験等を実施する必要がある製品について、その使用条件

や要求される性能、現在の代替候補品では代替困難な技術的理由、今後の開発の
目途等を記載した説明書。

- ・ 必要に応じ、技術データ等の関連資料を添付してください。

(3) 代替化の好事例

- ・ 様式任意
- ・ 従来石綿製品でなければならないと思われていた製品について、新製品の開発、
機器の設計、仕様の変更、作業方法の変更その他の方法で無石綿製品に代替でき
た事例について紹介してください。

2 提出時期

平成 16 年 8 月 31 日までに提出してください。ただし、調査、取りまとめ等に時間を
要し本期日までに提出することが困難な場合はできるだけ速やかに提出してください。

3 提出資料の扱いについて

提出いただいた資料は原則公開の扱いを予定しています。ただし、企業名、企業独自
の技術的ノウハウに係る事項等については非公開とすることができる場合もあります。

4 問い合わせ・提出先

厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質調査課調査班

(平成 16 年 4 月 1 日以降)

厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課衛生対策班

〒100-8916

東京都千代田区霞が関 1-2-2

T E L 03-3502-6756 F A X 03-3502-1598

参考例 1

石綿製品代替化計画表

平成 16 年〇月 (社) ○○○○協会

1 代替化計画

製品の種類	使用箇所	個数		代替化計画 (取替数/残存数/代替率)				備 考
			うち現時点で 代替化が困難 な物の個数	平成 17 年 4 月	平成 18 年 4 月	平成 19 年 4 月	平成 20 年 4 月	
ガスケット	配管フランジ部	約 15,000	約 5,000	約 3,000/ 約 12,000/ 約 20%	約 2,000/ 約 10,000/ 約 33%	約 2,000/ 約 8,000/ 約 47%	約 3,000/ 約 5,000/ 約 67%	
パッキン	制御弁のグランドパッキン	約 2,800	約 1,200	約 500/ 約 2,300/ 約 18%	約 300/ 約 2,000/ 約 29%	約 300/ 約 1,800/ 約 39%	約 300/ 約 1,500/ 約 46%	
石綿リボン	濾過器	約 200	約 100	約 50/ 約 150/ 約 25%	約 40/ 約 110/ 約 45%	約 30/ 約 80/ 約 60%	約 30/ 約 50/ 約 75%	平成 22 年 4 月までに すべて交換予定
・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	
合計		約 56,000	約 24,000	約 9,400/ 約 46,600/ 約 17%	約 9,600/ 約 37,000/ 約 34%	約 10,100/ 約 26,900/ 約 52%	約 12,200/ 約 14,700/ 約 73%	

参考例 1

2 代替品の開発計画

代替製品の開発計画					開発計画				備考
製品の名称	使用箇所	使用条件 (代替化が困難な 要因)	個数						
ガスケット	蒸気配管フラン ジ部	使用温度 500℃ 圧力 20MPa	約 350	H16	H17	H18	H19		
	タンクマンホー ル	使用温度 180℃	約 120	H16	H17	H18			
	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・					
石綿リボン	濾過器	使用温度 400℃	約 100	H16	H17	H18	H19		
・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・					

石綿等の使用状況並びに代替化計画の状況報告（様式1）

2004年〇〇月〇〇日
 〇〇〇〇株式会社△△△事業

現在使用又は保管している石綿等について、使用状況・使用製品毎に整理し、代替化計画を下表の番号でご記入ください。記入枠が足りない場合は適宜追加してください。

No	A. 使用状況		B. 使用製品		C. 代替化計画			備 考
	設備名	使用箇所数	使用製品の区分	用 途	代替できていない理由	代替の検討手段	代替の見通し	
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

設備名	使用箇所数	使用製品の区分	用 途	代替できていない理由	代替の検討手段	代替の見通し
〇〇設備	①数箇所（～10箇所）	①ジョイントシート、シール材	①シール	①技術的問題（内容物漏洩防止等の人・設備の安全確保）	①メーカーによる代替品の提供	①1年以内
△△設備	②数10箇所（～100箇所）	②石綿系保温材、断熱材	②断熱・保温	②技術的問題（製品品質の確保）	②自社による既存品の使用テスト	②3年以内
××設備	③100箇所以上	③石綿クロス（布）、石綿ヤーン（ひも）、石綿リボン、石綿テープ、石綿糸、石綿板、石綿被服等	③絶縁	③その他	③自社による代替品の開発	③当面の実現見通し無し
◇◇設備		④その他	④高温物等からの人体保護		④石綿使用が不用となる設備改造	④不明（代替可能品の出現有無に依存）
◎◎設備			⑤その他		⑤その他	⑤不明（その他）

参考例2

石綿等の在庫・使用量経年管理表（様式2）

〇〇〇〇株式会社△△△事業

使用製品区分	管理数量区分 (単位：kg)	2004年 (※1)	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
①ジョイントシート、シール材	期初在庫量										
	新規購入量										
	使用量										
	廃棄処分量(※2)										
	期末在庫量										
②石綿系保温材、断熱材	期初在庫量										
	新規購入量										
	使用量										
	廃棄処分量※2										
	期末在庫量										
③石綿クロス（布）、石綿ヤーン（ひも）、石綿リボン、石綿テープ、石綿糸、石綿板、石綿被服等	期初在庫量										
	新規購入量										
	使用量										
	廃棄処分量※2										
	期末在庫量										
④その他（ ）	期初在庫量										
	新規購入量										
	使用量										
	廃棄処分量※2										
	期末在庫量										
石綿量合計	期初在庫量計										
	期末在庫量計										
記入責任者	所 属										
	責任者名										

※1 2004年の期初在庫量、新規購入量、使用量、廃棄処分量は推計できる場合のみご記入ください。推計ができない場合は空欄にしてください。

※2 廃棄処分量は未使用在庫処分量（未使用のまま廃棄したもの）のみを対象とします。

※3 通常は（期初在庫量＋新規購入量）－（使用量＋廃棄処分量）＝期末在庫量となります。